

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29302	保育原理	中西綾子	1年次・前期	講義・2単位	卒業必修

授業の概要 / Course Outline
保育の意義と目的、保育の実践を支える基本的な理論と諸制度を学ぶ。保育に関する代表的な理念・思想がどのような歴史的・社会的背景によって登場し、現代の保育にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。さらに保育をめぐる社会の現状と課題について、歴史や諸外国の保育事情をふまえ広い視野で分析する視点を養う。自分の見解を理論的に説明できるようになることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育の意義について理解する。	A-①、B-②
・保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。	A-②、B-②
・保育の思想と歴史的変遷を理解する。	A-①、B-②
・保育を取り巻く社会的課題とその対応施策を考察する。	A-①、B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う。
レポート試験 Report Examination	30%	課題(保育歴史マップ)提出
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業への取り組み(コメントペーパー等)。

教科書 / Textbooks
使用しない。毎授業時に資料を配布する。

参考書 / Reference Books
厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018年、天野珠路・北野幸子(編集)『新保育基本シリーズ1保育原理』中央法規、2019年

予習・復習 / Preparation・Review
毎回の授業冒頭に、前回の授業のフィードバックを行う。授業後は教科書と資料を読み理解を深めること。試験では手書きの指定シートのみ閲覧可とする。指定シートについては授業内で指示する。従って、復習として、資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。(90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note
新聞やテレビで報道される保育・子育てに関するニュースや、子どもが登場するドラマ、映画、絵本等に日頃から関心をもち、自分なりの意見をもちながら見ることを推奨する。 【実務家教員】保育士や欧米でのナニーとしての経験をもとに、保育の意義と目的、保育の実践を支える基本的な理論と諸制度について講義する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション・保育とは何か
	授業の進め方の説明と、保育とは何か、教育とは何かを学ぶ。
02	保育の内容
	保育内容5領域の概念を遊びの視点から考える。
03	保育所保育指針における保育の基本①乳児、1歳以上3歳未満児の保育
	発達過程と保育の基本をふまえ、具体的な援助やかかわりを理解する。
04	保育所保育指針における保育の基本②3歳以上児の保育
	「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」の基本概念を理解する。小学校の学びへの接続を考える。
05	さまざまな保育思想から現代保育を考える①子どもの〈発見〉
	子どもの〈発見〉と〈誕生〉。近代以前の子育てや子ども観の変遷を理解する。
06	さまざまな保育思想から現代保育を考える②近代以前・近代市民社会への転換期の子ども
	近代以前から近代市民社会への転換期における保育思想、保育実践を理解する。
07	さまざまな保育思想から現代保育を考える③児童中心主義
	国民教育制度の発展と児童中心主義の保育思想、保育実践を理解する。
08	さまざまな保育思想から現代保育を考える④日本の近代保育教育の思想と実践
	日本における乳幼児期の教育の始まりと、教育運動、思想と実践を理解する。
09	保育制度の基本①保育に関する法体系と制度
	子ども・子育て新制度を中心に多様な保育・子育て支援と関係法令について理解する。
10	保育制度の基本②保育の社会的役割と責任
	子ども家庭福祉、公的施設としての責任や、子どもの権利擁護の視点から保育を理解する。
11	子どもの理解と保育計画・評価
	PDCAサイクルを理解し、保育の計画、評価と記録の重要性について学ぶ。
12	諸外国の保育の現状と課題①
	保育には、子どもの権利保障の視点から世界共通の部分と、国や生活や文化によって異なる部分があることを理解する。
13	諸外国の保育の現状と課題②
	多様性の保障とインクルーシブ保育について、イギリス、クロアチア等の実践から考える。
14	日本の保育の現状と課題
	現状を少子化や待機児童対策、早期教育、小1の壁等のさまざまな視点から捉え、多様化する保育ニーズと保育課題を考える。
15	まとめ、多文化共生時代の保育に向けて
	講義内容の総括。多文化共生時代の保育について考える。